

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

AG

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-338958

(43)Date of publication of application : 06.12.1994

(51)Int.Cl.

H04M 11/00

(21)Application number : 05-127527

(71)Applicant : KAA TOP TOMITA:KK

(22)Date of filing : 28.05.1993

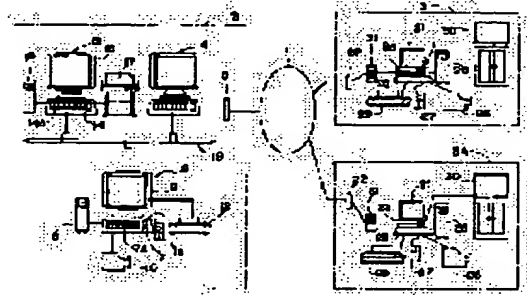
(72)Inventor : TOMITA MITSURU

(54) DATA BASE PROCESSOR

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily construct a system even in small capital.

CONSTITUTION: Registered data in a hard disk device 28 is registered and updated for each franchise shop 3, 3A. When it reaches prescribed time, a center system 2 collects each registered data, and generates new master data. This master data is stored in the hard disk device 28 through an ISDN line 1. Thus, each franchise shop 3, 3A can execute the retrieval processing of various kinds of information on the basis of the same master data without accessing the center system 2.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 06.06.1995

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 02.04.1997

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2747477

[Date of registration] 20.02.1998

[Number of appeal against examiner's decision of rejection] 09-07333

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 01.05.1997

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-338958

(43)公開日 平成6年(1994)12月6日

(51)IntCl.⁵
H 0 4 M 11/00

識別記号 庁内整理番号
3 0 1 7470-5K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平5-127527

(22)出願日 平成5年(1993)5月28日

(71)出願人 593101670

有限会社カートップトミタ

新潟県佐渡郡金井町大字三瀬川214番地

(72)発明者 富田 充

新潟県佐渡郡金井町大字三瀬川214番地

有限会社カートップトミタ内

(74)代理人 弁理士 牛木 義

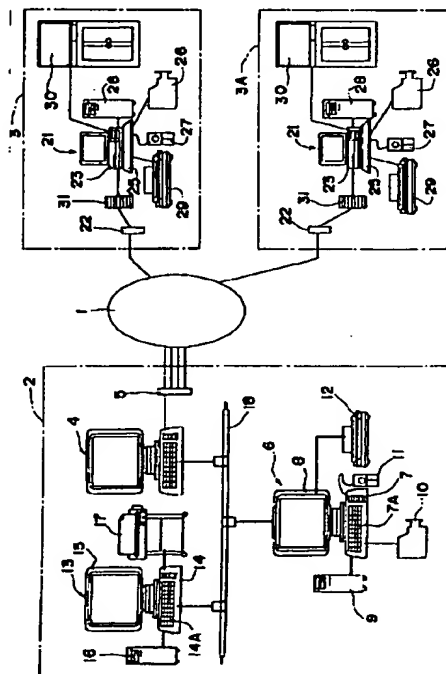
(54)【発明の名称】 データベース処理装置

(57)【要約】

【目的】 少ない資本においても容易にシステムの構築を可能とする。

【構成】 各フランチャイズ店3, 3A毎に、ハードディスク装置28内の登録データを登録更新する。センターシステム2は所定の時間に達すると、各登録データを吸い上げ、新たなマスターデータを作成する。ISDN回線1を介してこのマスターデータをハードディスク装置28内に記憶させる。

【効果】 各フランチャイズ店3, 3Aはセンターシステム2を呼び出すことなく、同一のマスターデータに基づき各種情報を検索処理できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 入力手段と、各端末毎に設けられ共通するマスターデータと前記入力手段からの情報に基づき随時更新される登録データとを有する書替え可能な記憶手段と、所定の時間に前記各端末毎に記憶された前記登録データを吸い上げこの集められた登録データと前記マスターデータとの比較結果に基づき新たなマスターデータを前記各記憶手段に送出する制御処理手段とを備えたことを特徴とするデータベース処理装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、例えば画像などの大量の情報を有する各種のデータベースを各端末で処理検索するのに好適なデータベース処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、この種のデータベース処理装置は、例えば特開平 3 - 2 8 2 7 7 8 号公報において開示されるように、汎用コンピュータから送出されたデータベースアクセス用の選択画面のデータ内容を端末側の表示装置に表示させ、このデータ内容に基づき入力装置を介して選択された座標データを汎用コンピュータ側に送出すると、所望する情報データが汎用コンピュータ内のデータベースより検索され、再度端末側の表示装置に表示されるようになっている。そして、このような汎用コンピュータと各端末間のデータ伝送は、主として ISDN 回線（サービス総合デジタル網）などを介して行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記従来技術においては、全てのデータベースが汎用コンピュータ内に格納されているため、端末側から所望する情報データを取出す毎にいちいち汎用コンピュータを呼出す必要が生じる。このため、複数の端末を汎用コンピュータに接続して使用する場合には膨大な通信コストが掛かり、少ない資本で新たなシステムを構築することが難しい。

【0004】 本発明は、このような問題点を解決しようとするもので、少ない資本においても容易にシステムの構築が可能なデータベース処理装置を提供することをその目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は、前記目的を達成しようとするもので、入力手段と、各端末毎に設けられ共通するマスターデータと前記入力手段からの情報に基づき随時更新される登録データとを有する書替え可能な記憶手段と、所定の時間に前記各端末毎に記憶された前記登録データを吸い上げこの集められた登録データと前記マスターデータとの比較結果に基づき新たなマスターデータを前記各記憶手段に送出する制御処理手段とを備えたものである。

【0006】

【作用】 上記構成により、新たな情報を各端末の入力手段から随時記憶手段内に記憶更新させることによって、制御処理手段は所定の時間になると各端末から吸い上げられた登録データに基づいて新たなマスターデータを作成する。その後、この新たなマスターデータの内容は記憶手段に記憶されるため、各端末は制御処理手段を呼び出すことなく、記憶手段内に記憶された同一のマスターデータに基づき、各種情報をリアルタイムに検索処理することが可能となる。

【0007】

【実施例】 以下、本発明の一実施例につき、図 1 乃至図 5 に示す添付図面を参照して説明する。本実施例におけるデータベース処理装置は、センターと複数のフランチャイズ店に導入される中古車販売用の検索表示システムに適用されたものであり、全体構成を示す図 1 において、1 は各端末を構成するセンターシステム 2 と各フランチャイズ店 3、3 A 間に接続される通信手段としての ISDN 回線であり、この ISDN 回線 1 を介して画像や文字などのデジタル信号化された各種データが大量にかつ相互に伝送されるようになっている。前記センターシステム 2 の内部には、送受信手段としての通信用端末機 4 が設けられ、この通信用端末機 4 と ISDN 回線 1 がインターフェース 5 を介して接続される。また、6 は内蔵する制御プログラムに従って車輛の登録及び検索などを随時処理実行する業務処理端末機であり、前面に入力手段たるキーボード 7 A を有する制御処理部 7 と、処理内容などを画像表示する CRT 8 と、画像や文字などの各種データベースが記憶される書替え可能な記憶手段たるハードディスク装置 9 と、画像データを取込むための入力手段たるビデオカメラ 10 とにより構成される。なお、11 は操作性をより向上させるためのトラックボール、12 は印刷手段たるプリンタであり、必要に応じて制御処理部 7 に接続される。13 は各種のデータベースを処理するファイルサーバーであり、前記業務処理端末機 6 と同様に、キーボード 14 A を有する制御処理手段としての制御処理部 14、CRT 15、記憶手段たる外付けのハードディスク装置 16、及びプリンタ 17などを備える。そして、このファイルサーバー 13 と各端末機 4、6 とは、LAN 用のインターフェースボード（図示せず）を介して同軸ケーブル 18 により相互に連結される。

【0008】 一方、各フランチャイズ店 3、3 A において、21 はインターフェース 22 を介して ISDN 回線 1 に接続される汎用パーソナルコンピュータからなる処理端末機である。処理端末機 21 は周知のように、制御処理部 23 と、この制御処理部 23 に接続される CRT 24 およびキーボード 25 とにより構成される。また、26 はビデオカメラであり、新規の車輛を登録する際に制御処理部 23 に接続される。各処理端末機 21 には業務処理端末機 6 と同様に、トラックボール 27、ハードディスク装置 28 およびプリンタ 29 がそれぞれ設けられるとともに、店頭効果を

促進するために大型（29型以上）のテレビモニター30が制御処理部23に接続される。さらに、インターフェース22と制御処理部23との間には、処理端末機21の自動立ち上げ用としてのリレーボックス31が設けられる。

【0009】図2はシステムの全体構成を便宜上さらに簡略化に示したものであり、同図において、センターシステム2の同軸ケーブル18には制御処理部7、14に共用される別のハードディスク装置32が適宜接続される。また、センターシステム2側で顧客に各種検索結果を表示する場合には、フランチャイズ店3、3Aと同様のテレビモニター30が設置される。これらのテレビモニター30は、画像表示用のインターフェースボード33を介して制御処理部7、23に接続される。なお、34はビデオカメラ10に接続された画像入力用のインターフェースボードである。

【0010】各ハードディスク装置9、16、28、31は、トランザクションデータ記憶部9A、16A、28A、31Aと、マスターデータ記憶部9B、16B、28B、31Bとにより構成される。各処理端末機6、21側に接続されるハードディスク装置9、28のトランザクションデータ記憶部9A、28Aは、新たな車輛の登録時にビデオカメラ10、26およびキーボード7A、25などからの画像・文字情報が随時登録データとして読み込み更新される。また、ファイルサーバー13側に接続されるトランザクションデータ記憶部16A、31Aは、制御処理部14を介して吸い上げられたトランザクションデータ記憶部9A、28Aの登録データを一時的に記憶する。これに対して、各マスターデータ記憶部9B、16B、28B、31Bには、共通のマスターデータがパッチ処理により記憶されるようになっている。

【0011】各処理端末機6、21の制御処理部7、23には、車輛登録処理手段、車輛検索処理手段、車輛予約・売却・予約取消手段、および車輛情報印刷処理手段などの処理ルーチンが備えられる。また、これらの処理ルーチンとは別に、トランザクションデータ記憶部9A、28Aの登録データをファイルサーバー13側に送信する車輛情報送信処理手段と、新たなマスターデータをマスターデータ記憶部9B、28Bに記憶させる車輛情報受信処理手段とを備える。一方、ファイルサーバー13の制御処理部14には、登録された車輛の情報を修正・削除する登録車輛メンテナンス処理手段、各フランチャイズ店3、3Aの住所や電話番号などの業者情報を登録・修正・削除するメンテナンス処理手段、各制御処理部7、23の予約・売却・予約取消し情報を管理するセンター業務受付処理手段が備えられるとともに、処理端末機6、21内の登録データを吸い上げる吸い上げ処理手段と、集められた登録データとマスターデータとの比較結果に基づき新たなマスターデータを作成処理する車輛情報マッチング処理手段と、新たなマスターデータを処理端末機6、21側に送り出す車輛情報配信処理手段とを備えている。

【0012】次に、上記構成につき、その作用を説明する。通常の業務時間帯において、各フランチャイズ店3、3A側では処理端末機21を起動させることにより、各フランチャイズ店3、3A毎に入庫車輛の登録や検索などをリアルタイムで処理実行する。例えば、各フランチャイズ店3、3Aで仕入れた車輛の画像・文字情報を検索データとして登録する場合、先ず、ビデオカメラ10を操作して登録すべき車輛の画像情報を取込むとともに、キーボード25およびトラックボール27を介して車輛の情報を文字として取込む。この取込まれた画像・文字情報は、制御処理部23の車輛登録処理手段によりハードディスク装置28のトランザクションデータ記憶部28Aに記憶登録され、同時にチェックリストとしてプリンタ29より出力される。

【0013】一方、車輛を検索する場合には、制御処理部23の車輛検索処理手段を介してマスターデータ記憶部28B内に記憶されるマスターデータを読み出し、図3に示すように、複数の車輛の画像情報を画像情報部41により分割してテレビモニター30で一覧表示する。この一覧表示は、ISDN回線1を介さず処理実行されることから、安価で、しかも店頭効果用として常時表示することができる。また、図4に示すように、目的とする車種の画像と、走行距離やオプション部品の有無などを示す文字情報を画像情報部41と文字情報部42により別にテレビモニター30でカラー表示することもできる。さらに、制御処理部23の車輛情報印刷処理手段によりプリンタ29を介して必要な車輛情報を出力させることにより、顧客がシステムを自由に利用することもできる。

【0014】さらに、制御処理部23の車輛予約・売却・予約取消手段に基づいて、各フランチャイズ店3、3A毎にマスターデータ内に記憶される車輛の予約・売却を行うと、確認のためにこれらのデータがISDN回線1を介してファイルサーバー13に送出される。ファイルサーバー13は制御処理部14のセンター業務受付処理手段により各フランチャイズ店3、3Aからの予約・売却情報をリアルタイムにテキスト形式でファイルに書き込み、データの整合性を保ちながら管理するとともに、プリンタ17よりLOG（記録）情報として出力する。このとき、センターシステム2からフランチャイズ店3、3Aには処理結果が通知され、これを直ちに顧客に知らせることができる。なお、予約取消の場合も同様の手順で行われる。

【0015】一方、所定の時間、好ましくは業務時間終了後の夜間になると、図5に示すフローチャートに従って、各マスターデータ記憶部9B、16B、28B、31B内に記憶されるマスターデータの更新が行われる。先ず、ステップS1において、夜間の予め指定した時間に達すると、前記吸い上げ処理手段によりファイルサーバー13からフランチャイズ店3、3Aのリレーボックス31に対して、処理端末機21を立ち上げるための駆動信号が出力

される(ステップS2)。続いて、ステップS3に移行し、ファイルサーバー13はISDN回線1を介してボーリング処理によりフランチャイズ店3、3Aの登録データを吸い上げる。このとき、処理端末機21は、車輛情報送信処理手段によりトランザクションデータ記憶部9A、28Aの登録データをファイルサーバー13側に送信する。そして、登録データの吸い上げが終了すると、一旦処理端末機21はリレーボックス31を介してパワーオフされる(ステップS4)。前述のステップS1～ステップS4の手順は各フランチャイズ店3、3A毎に行われ、こうして集められる各登録データの画像および文字情報は別個にトランザクションデータ記憶部16A、31A内に記憶されるとともに、全ての登録データの吸い上げが終わると、登録データの吸い上げ結果がプリンタ17より出力される。次いで、ステップS5に移行し、制御処理部14内の車輛情報マッチング処理手段に基づいて、トランザクションデータ記憶部16A、31A内に記憶された登録データと、マスターデータ記憶部16B、31B内に記憶されたマスターデータとの比較が行われる。そして、マスターデータ内に既に同一の車輛情報が存在している場合にはデータ修正し、マスターデータ内に同一の車輛情報が存在しない場合にはデータ登録として処理する。こうして得られた新たなマスターデータは、共通する差分データとしてハードディスク装置16、31のマスターデータ記憶部16B、31Bに記憶される。また、各フランチャイズ店3、3Aに対しては、処理端末機21へアクセスしてリレーボックス31によりこの処理端末機21を再び立ち上げた後(ステップS6、S7)、ISDN回線1を介してマスターデータを送り出し(ステップS8)、ステップS9にて処理端末機21をパワーオフする。このステップS6およびステップS9の手順は全てのフランチャイズ店3、3Aの処理端末機21に対して順次行われ、最終的に各フランチャイズ店3、3Aのマスターデータ記憶部9B、28B内にマスターデータがそれぞれ記憶される。したがって、翌朝各フランチャイズ店3、3Aにおいて各処理端末機21を立ち上げる際には、共通する新たなマスターデータに基づき、センターシステム2を呼び出すことなく車輛の検索や予約・売約などの一連の業務を行うことが可能となる。

【0016】以上のように上記実施例によれば、各フランチャイズ店3、3A側で新たな入庫車輛の画像・文字情報を登録データとして随時ハードディスク装置28内に記憶更新させることによって、夜間バッチ処理により各登録データに基づいて作成された新たなマスターデータが、センターシステム2側から各フランチャイズ店3、3Aに送り出されるため、各フランチャイズ店3、3Aはいちいちセンターシステム2を呼び出すことなく、ハードディスク装置28内に記憶された同一のマスターデータに基づき、車輛の各種情報を顧客にリアルタイムに提供することが可能となる。したがって、センターシステ

ム2とフランチャイズ店3、3A間の通信コストは夜間のバッチ処理時のみに抑えることができ、画像などの多量の情報を各フランチャイズ店3、3A毎に扱う場合においても、単に処理端末機21として汎用パーソナルコンピュータを各フランチャイズ店3、3Aに導入するだけで、少ない資本で新たなシステムを容易に構築することが可能となる。

【0017】さらに、実施例上の効果として、各フランチャイズ店3、3Aに設けられた大型のテレビモニター30により、視覚を通して各種情報が直観的に伝達されるため、その店頭効果は著しいものとなる。また、他のフランチャイズ店3、3Aに登録された車輛の情報も、新たなマスターデータが作成されるとその内容をハードディスク装置28からリアルタイムに読み出すことができるため、各フランチャイズ店3、3Aにおける在庫リスクを低減して、フランチャイズ店3、3Aのグループ化による業績の向上を実現することが可能となる。さらに、センターシステム2からのマスターデータは各フランチャイズ店3、3A側を主体として自由に利用できるため、管理上の制約が小さく済み、しかも、データ登録などを即時に行うことが可能である。

【0018】なお、本発明は上記実施例に限定されるものではなく、本発明の要旨の範囲において種々の変形実施が可能である。例えば、実施例では中古車販売用の検索表示システムに適用した場合を示したが、データベースは中古車に限らず、例えば店頭効果を目的とした業務などのあらゆる検索処理システムに本発明のものを適用させることができる。またデータベースの種類を増やすだけで、車以外の洋服、雑貨、家具、観光案内などの多角経営にも、フランチャイズ店側の負担を最小限に減らして本システムを応用することが可能となる。さらに、各端末間には上述のISDN回線のみならず各種の通信手段を用いることが可能である。さらに、記憶手段は制御処理手段に内蔵するハードディスクと組み合わせて用いることも可能であり、場合によってはCD-ROMのような書替え可能なものに適宜変更することもできる。

【0019】

【発明の効果】本発明は、入力手段と、各端末毎に設けられ共通するマスターデータと前記入力手段からの情報に基づき随時更新される登録データとを有する書替え可能な記憶手段と、所定の時間に前記各端末毎に記憶された前記登録データを吸い上げこの集められた登録データと前記マスターデータとの比較結果に基づき新たなマスターデータを前記各記憶手段に送出する制御処理手段とを備えたものであり、少ない資本においても容易にシステムの構築が可能なデータベース処理装置を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示すシステムの全体構成図である。

【図2】 同上システムの概略構成図である。

【図3】 同上テレビモニターにおける表示の一例を示す正面図である。

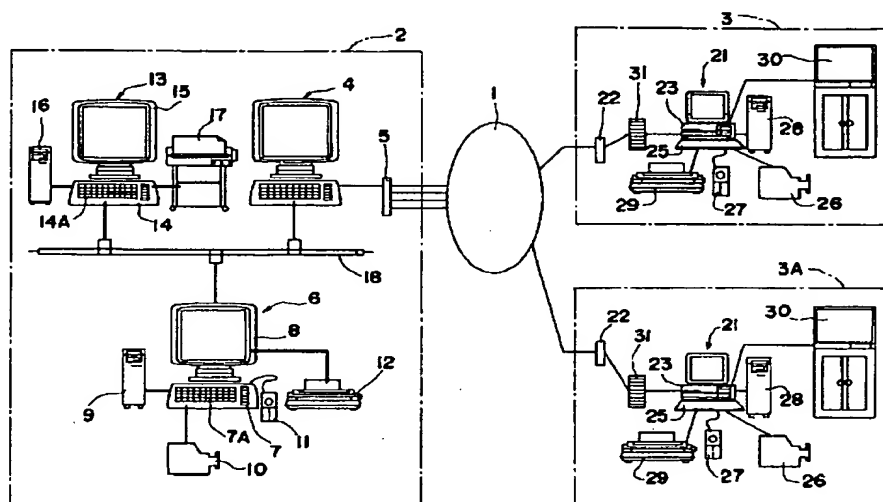
【図4】 同上テレビモニターにおける表示の一例を示す正面図である。

【図5】 同上マスターデータの更新を行う際の手順を示すフローチャートである。

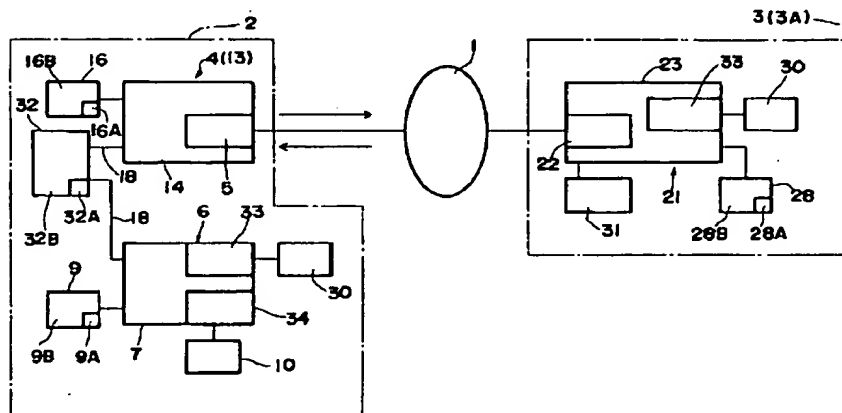
【符号の説明】

- 2 センターシステム (端末)
- 3, 3A フランチャイズ店 (端末)
- 7A, 25 キーボード (入力手段)
- 10, 26 ビデオカメラ (入力手段)
- 9, 16, 28, 31 ハードディスク装置 (記憶手段)
- 14 制御処理部 (制御処理手段)

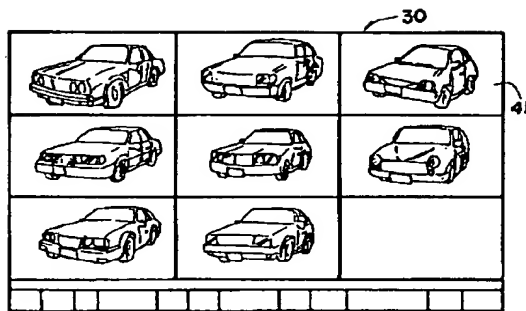
【図1】



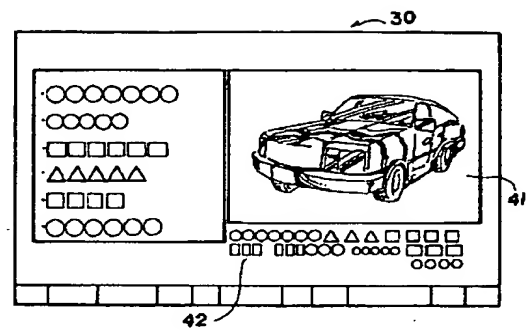
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

